

特集
鹿兒島と生きる、
家の備え

創業より77年、ヤマサハウスは鹿兒島に住まう方々の暮らしを守りながら、歴史を刻んできました。過去の地震や台風などの自然災害から復旧してきた知見を積み重ね、より災害に強い家づくりのために、たゆまぬ努力を続けています。

今回は、郷土に根ざした当社のレジリエンス住宅[※]のメソッドや、そこに込められた想いを深掘り。さらに、日々の暮らしがそのまま防災につながるアイデアや、いざという時に役立つ便利な防災グッズを、プロの視点から教えていただきました。ぜひ、皆様の暮らしを守る備えとして参考にしてください。

※レジリエンス住宅とは、災害時の強さだけでなく、平常時の安全性や災害後の備えも兼ね備えた住まいのこと。



ひとつ上の安全をつくる 家づくりのアイデア



Idea 2 小屋裏空間やロフトは もしものときの避難場所に

平屋住宅の人気が高まっていますが、ロフトがあると普段使いに加え、いざという時の避難場所にもなります。



Idea 1 大型収納が備蓄スペースに。 備蓄品を収納しよう！

大型収納は、備蓄スペースとしても活用できます。いざという時のために、日頃からしっかりと備えましょう。



Idea 4 強風にも負けない！ 耐風瓦と独自の施工

耐風瓦を採用し、一枚ずつビスで留め、クリップで固定。台風時もズレることなく、強風から家を守ります。



Idea 3 太陽光発電と蓄電池で 停電時も安心！

蓄電池は余剰電力を充電できるほか、停電時も自宅で電気を使えるため安心です。災害の備えとしてもおすすめです。



自社プレカット工場の見学などで、家づくりの基礎となる部分の強度などもしっかりお伝えします。

ぜひ、最新の防災設備を実際に見て体験できる
「住まいづくり探検ツアー」にお越しください！

当社の家づくりのこだわりを体験できる「住まいづくり探検ツアー」。オーナー様の体験談や、実物大の構造模型で独自の工法を解説。防犯ガラスと標準ガラスの強度の違いや、透湿素材と一般素材の品質検証などご体験いただけるツアーです。

お申込みは
こちらから



防犯ガラスと防災窓

暴風による飛来物で破損しても、破片が飛散しない防犯ガラスが、当社の標準仕様。窓のサッシは耐風かつ、雨水の浸入を軽減する仕組みになっています。



携帯電灯としても 活躍する保安灯

壁から外せばハンディライトにもなる充電式照明。普段は据え置き型として、停電などの非常時は持ち運び可能なライトとして活躍します。

※「CORRECT HOUSE」は標準仕様で、他ブランドはオプションになります。



ジャパン・レジリエンス・ アワード受賞

長年の災害対策のノウハウを活かした家づくりが評価され、「ジャパン・レジリエンス・アワード2023(強靱化大賞)」を受賞しました。

※次世代のレジリエンス社会構築へ向けて、強靱な国づくり、地域づくり、人づくり、企業づくりに資する活動、技術開発、製品開発等を行う先進的な企業・団体を評価・表彰する取り組み。



被災地の視察

能登半島地震の視察では、耐震補強の重要性を再認識。その教訓を現在、リノベーションやリフォームの耐震補強計画に活かし、鹿児島島の気候風土に合う長寿命の住まいを推し進めています。

備えあれば憂いなし！

住まいが家族を守る家づくりを実現

全国の被災地へ足を運び
教訓として家づくりに活かす

ヤマサハウスでは、これまで1万棟を超える住まいを手がけてきました。日々の暮らしと防災の両立を家づくりの根底に据え、「災害に強い家づくり」を追求しています。災害は避けられないからこそ、備えが重要です。転換点は、1993年の台風13号。戦後最大級と表現された台風は、鹿児島に甚大な被害をもたらしました。特に目立ったのが「瓦の飛散」。これを教訓に屋根

施工の技術開発を進めました。その結果、台風による被害は大幅に減少。また、私たちは災害のたびに全国の被災地へ足を運んで、自分たちの家づくりを見直し、改善を重ねています。

いざという時に お客様の暮らしを守る

当社は、自然災害など緊急時に事業を継続するためのBCP(事業継続計画)を策定。災害発生時は、お客様からの問い合わせを受け、チームで現場

へ駆けつけます。被害状況を確認後、協力会社の職人と修繕作業を行い、お客様の不安を解消するよう努めています。一方で、万一の地震で建物が全壊しても、自己負担なしで販売価格まで建て替えを保証する独自のサービス「地震建替保証」も行っています。これは長年培ってきた災害に強い家づくりへの揺るぎない自信があるからこそ。今後もお客様の安心できる暮らしを守るため、尽力し続けます。



会社代表
本島
郡山 意司

工学部建築学科卒業後、2002年入社。設計や施工技術マニュアル作成などを経て、企画開発室に、家の性能向上の研究開発を主に担当する。